念いりに注いだ、カップ一杯のコーヒー。
そこからドトールは、どれだけ人のこころを
明るくできているでしょうか。
「さぁ、つぎ」の前向きな気もちをうみだせているでしょうか。
お客様が、まず、席に腰をおろす。
じっくり、味わう。ふっと、息をつく。
そして、はればれとした表情でお店の外へと出かけていく。
まるでスイッチが切りかわったような、
幸せな姿を目にするたびに、
私たちの本物のおいしさへのこだわりや心地よい空間づくりは、
日々、上を向いて生きることの
お役に立てているのだと、誇らしく感じます。
ドトールに入る前と後では、
気もちのあり方がずいぶんちがうなぁ、
とみなさまに実感していただきたい。
いつだって、元気をなみなみとあなたの中にみたしていってほしい。
そのことを胸に、今日も私たちはこの一杯から、
「はれやか」をお届けします。

ドトール、のち、はれやか。

株式会社ドトール・日レスホールディングス URL http://www.dnh.co.jp
本社　東京都渋谷区猿楽町10番11号　TEL 03-5459-9178(代表)

DOUTOR 株式会社ドトールコーヒー www.doutor.co.jp

NRS 日本レストランシステム株式会社 www.n-rs.co.jp

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

DNREPORT Vol.17

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2016年2月期 報告書

証券コード:3087

Contents

ドトール・日レスグループの「今」をチェック! …… 1
特集1 エクセルシオール カフェの進化 …… 3
特集2 食材にこだわる日レスの新展開 …… 5
新メニュー・ピックアップ …… 7
連結決算ハイライト …… 9
マネジメントメッセージ …… 10
事業別の概況 …… 13
連結財務諸表 …… 14
会社概要 …… 15
株式情報 …… 17

ドトール・日レスグループの「今」をチェック!

ドトールコーヒーショップ

島根県に初進出!

2015年10月16日、ドトールコーヒーショップ　シャミネ松江店がオープンしました。全国で最後の島根県への出店により、47都道府県すべてに出店することができました。今後も、“一杯のおいしいコーヒーを通じてやすらぎと活力を提供する”という当社の理念に基づいて、より多くのお客様にご利用いただけるよう、さらなる出店拡大を目指していきます。

POLLO PORRO

新業態のイタリアンバールがOPEN!

2016年1月28日、石釜焼き料理とパスタ、ワインを楽しめる本格派イタリアンバール「POLLO PORRO」がオープン。高温の石窯で仕上げるピッツァ、肉料理がおすすめです。オリーブオイル、パスタ、チーズ、ワインは全てイタリアより直輸入品を使用し、料理の味をさらに引き立てています。店内は明るい空間と落ち着いた空間をご用意しており、さまざまなシーンでご利用いただけます。

イタリア語で「POLLO」は鶏、「PORRO」はネギの意味。

ドトールコーヒーショップ

特色ある立地別メニュー!

地域別、立地別に特色あるメニューの展開に取り組んでいます。沖縄牧志店限定の「かき氷」メニューの販売や、ショッピングセンター内の店舗を中心にサラダをメインにした「ベジボウル」セットを発売しました。今後も病院やサービスエリアなど、店舗の立地やお客様のニーズに合わせたメニュー開発を行っていきます。

D&Nコンフェクショナリー

濃厚で、贅沢なおいしさ。「東京ぼーの プレミアム」新発売!

2016年3月1日、ちょっとリッチな「東京ぼーの」が登場。チーズの王様と呼ばれる「ブリー・ド・モー」とコクが自慢の卵「エグロワイヤル」を使った濃厚で、贅沢な味わい。昨今拡大傾向であるギフトの市場に向けた新しい展開となります。今後もより多くのお客様の喜びに繋がるよう、新たな商品開発を行っていきます。

オスロコーヒー

中部地区に初進出!

北欧で人気のエアロプレスで淹れたスペシャルティコーヒーとノルウェーサーモン、デンマークチーズ、リンゴンベリーなど北欧の食材を使用したサンドイッチやデニッシュ、ケーキを豊富に揃えた「オスロコーヒー」。2015年12月15日には中部地区初となるオスロコーヒー名古屋栄店をオープンしました。今後も、多店舗化を図るなど、新規出店の拡大とブランドのさらなる展開に注力していきます。

ドトールコーヒーショップ

公立図書館施設内に初出店!

2016年5月3日、ドトールコーヒーショップ千葉市中央図書館・生涯学習センター店がオープンしました。今回出店した1Fスペースは、メインエントランスから視認性も高く、図書館を利用する方々や生涯学習センターを利用する方々が気軽に訪れ、快適な時間をお過ごしいただけます。今後も、公立図書館やさまざまな公共施設など、多くの人びとの生活のインフラとなる立地への出店に積極的に取り組んでいきます。

サンメリー

2016年5月、70周年を迎えます。

1946年、東京、赤羽の和菓子と甘味喫茶の店がはじまりでした。時代と共に、洋菓子、レストランそして焼きたてパンの専門店へとサンメリーは変化しましたが、これからも創業当時のこだわりを持ち続け、本物の味、安心素材を使ったパン作りに取り組んでいきます。5月12日より創業祭フェアを開催。創業どら焼きなど70周年記念商品を販売します。

一般卸

ミルクで抽出したおいしいカフェラテ新発売!

2016年5月24日、ドトールブランドのチルドカップ飲料「ミルクで抽出したおいしいカフェラテ」(240ml・208円)が全国のコンビニエンスストアにて発売されました。チルド飲料市場はチェーン各社のPB商品が主流の中、NB商品には圧倒的な商品力や差別化が求められています。この新商品は足かけ5年の開発期間を経たミルク抽出製法により、味・香りともにミルクに負けないコーヒー感を実現した自慢の逸品です。ぜひ一度ご賞味ください。

特集1
エクセルシオール
カフェの進化

「価値ある時間（とき）」を お届けするカフェブランドへ

**お客様に長く愛され続けるカフェを目指して、進化を遂げているエクセルシオール。
利便性と品質という強みを活かしてリブランディングを推進中です。**

一人ひとりのお客様に「価値ある時間（とき）」を提供

ブランドコンセプトの「価値ある時間（とき）」には、心地よい雰囲気、最高のクオリティの商品、心のこもったおもてなしに努め、一人ひとりのお客様のプライベートやビジネスにおける限られた時間を、「価値ある時間」に変えていただきたいという想いが込められています。

おいしいコーヒーとおいしいパンが主役

カフェの基本であるコーヒーとパンのおいしさにとことんこだわりました。豊かな香味を余すことなくドリップで引き出したスペシャルティコーヒーや、店内のオーブンで焼き上げるデニッシュなど高品質な商品提供は、ドトールが長年培ってきたノウハウをフルに活用しています。

お客様のニーズや立地に合わせて、さまざまなスタイルで展開しています

カフェ飲み需要に対応

川越ブランドの地ビールとして人気の高いCOEDO瓶ビールや生ビールをはじめ、“軽く一杯”にちょうどいいカクテルも各種取り揃えています。

ベーカリー機能を併設

店内に設置したオーブンで毎日焼き上げる10数種類のデニッシュ。店に一歩足を踏み入れた途端、香ばしい焼きたてパンの香りに誘われます。

コーヒー豆や紅茶の販売

世界各地から選りすぐった高品質で希少性の高いスペシャルティコーヒーやリーフティー、見た目にもおしゃれな抽出器具も各種取り揃えて販売しています。

特集2
食材にこだわる
日レスの新展開

「黒毛和牛腰塚」がチャレンジする上質な価値づくり

最高級黒毛和牛をプロの目利きでご提供

東京食肉市場で黒毛和牛の仲卸業を専門とする「腰塚」は、日本全国から集まる和牛の中から最良の肉質のものだけをプロの目で厳選し、一頭買いをしています。前沢牛、近江牛、松阪牛などの最高峰の黒毛和牛はもとより、確かな目利きでブランド牛と同等品質の幅広い銘柄のお肉をベストプライスでお客様に提供しています。

❖黒毛和牛ざぶとんの十枚重ね

肩ロースの中でも特にサシが入った希少部位ざぶとん。上品でとろける食感とコクのある味わいが楽しめます。

❖腰塚ステーキ&タルタルハンバーグ

イチボまたはランプを使用した腰塚自慢のステーキと、黒毛和牛100%ハンバーグの贅沢なコンビネーション。

❖100%手作り極上コンビーフ

伝統的な製法で丁寧に作られたコンビーフは極上の口どけ。バゲットとワインのお供にも、白飯にのせて卵黄とわさび醤油でも絶品。

自慢の逸品をぜひご賞味ください

焼肉店

感動の味覚と出会える飲食空間

仲卸業を営む腰塚だからこそできる驚きの品質と価格で、最高の焼肉をご提供。ザブトンやカイノミ等の希少部位もご堪能いただけます。

自由が丘店
東京都目黒区自由が丘2-12-19　2F
ランチ11:30〜15:00／ディナー17:00〜23:00／土日祝11:30〜23:00

新横浜店
神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-26
新横浜SSビル2F
ランチ11:30〜14:30／ディナー17:00〜23:00／土日祝11:30〜23:00

ハンバーグ&ステーキ店

充実したメニューで気軽に贅沢

肉と塩胡椒のみで仕上げた黒毛和牛100%のハンバーグと最高級ステーキのコンビネーションがお楽しみいただけます。

自由が丘正面口店
東京都目黒区
自由が丘1-29-7
薮伊豆ビル2F
ランチ11:30〜15:00／ディナー18:00〜23:00／土日祝11:30〜23:00

精肉店

自由が丘店の店頭で一般販売

最高の和牛精肉を店頭販売しています。特別な日や大切な方へのご贈答品としてもご利用いただけます。

自由が丘店
東京都目黒区自由が丘
2-12-19　1F
11:00〜20:00

通販サイト

腰塚の極上和牛をご家庭でも

A5ランクのサーロインや上ヒレステーキ、人気の霜降りしゃぶしゃぶ肉をはじめ、とろける味わいと評判の極上コンビーフ等、通販サイトでも販売しております。

http://www.koshiduka.com/

季節を彩る「おいしさ」との新鮮な出会いがあります。

「ドトール冬メニュー人気投票」結果発表!

2015年11月～12月に開催した、Facebookキャンペーン「ドトール冬メニュー人気投票」では、10,409名の投票の結果、「ミラノサンド 炭焼ローストビーフ～特製バルサミコソース～」が1位、「ルーフチョコレート」が2位となりました。

DOUTOR

「ミラノサンド 厚切りベーコン&とろっとタマゴ」 9月3日

「プレミアムシューシャポー キャラメル&アーモンドクランチ」 9月17日

「焼いてとろける チーズケーキ」 10月1日

「カフェ・ショコラ フランボワーズ」 11月5日

「まるごと苺のシューシャポー」 2月4日

「ミラノサンド 牛肉の赤ワイン煮込み」 1月14日

EXCELSIOR CAFFÉ

「ハニーロイヤルミルクティー」 9月3日

「パンプキンタルト」 9月3日

モーニングセット「トーストサラダプレート」 9月3日

「ヘーゼルナッツチョコラータ」 11月12日

「ローストビーフ&バルサミコソース」 11月12日

「タルト・タタン」 11月26日

銀座梵

「白神あわび茸ステーキと炙り帆立のペペロンチーノ燻製仕立て」 9月1日

「栗のクレームブリュレ マロンアイス添え」 9月1日

「秋茄子と京都産大黒本しめじとイベリコ豚のトマトソース」 9月1日

「広島産牡蠣と帆立と冬野菜のトマトクリームスープ」 12月1日

「アップルコブラー バニラアイス添え」 12月1日

健康志向の新セットが登場

「ヘルシーパスタセット」(サラダ、季節のおすすめハーフスパゲッティー、スープ、ドリンク)

星乃珈琲店

「自家製コンビーフとポテトのトーストサンド」 2月4日

「トリプルチョコレートのスフレパンケーキ ダブル」 2月4日

「厚切りベーコンときのこのポルチーニクリーム」 9月3日

「ショコラティエのミルクティー」 12月3日

「ビーフシチューのスフレドリア」 9月3日

「キャラメルりんごのスフレパンケーキ ダブル」 12月3日

天然酵母の本格派 石窯パン工房 SUNMERRY'S

まるごと栗あんぱん

秋の実りフェア 9月

コンビーフポテト

北海道フェア 10月

揚げピザマルゲリータ

イタリアフェア 11月

パン屋さんの海老グラタン

冬のパンフェア 12月

挽肉と根菜の和風カレーパン

和風パンフェア 1月

ブルーベリークリームチーズ

チーズフェア 2月

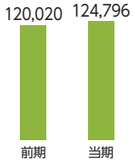
当期のポイント

- 立地を厳選し、グループ全体で98店舗を出店
- 新規出店および改装効果により売上を拡大
- 一般卸部門は順調に推移、増収増益基調を維持
- 原価の上昇と為替変動を受け、利益率が低下
- 年間配当は前期同額の1株当たり28円を実施

連結売上高

124,796百万円

（前期比 4.0%増）



連結営業利益

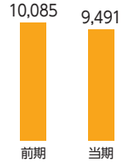
9,466百万円

（前期比 1.4%減）

連結経常利益

9,491百万円

（前期比 5.9%減）



連結当期純利益

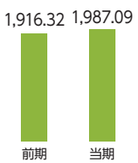
5,456百万円

（前期比 4.5%増）

連結1株当たり純資産額

1,987.09円

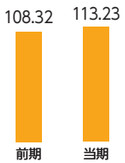
（前期比 70.77円増）



連結1株当たり当期純利益

113.23円

（前期比 4.91円増）



代表取締役会長 大林 豁史　代表取締役社長 星野 正則

事業基盤の強化と企業価値向上に邁進していきます。

ご挨拶

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別なご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から雇用情勢の改善をはじめとした緩やかな景気回復基調で推移しております。一方で、中国をはじめとした海外の経済成長の減速や円安がもたらした原材料や輸入品価格への影響から物価上昇圧力への懸念が高まり、消費全般の基調は引き続き楽観視できない状況で推移しました。

外食業界におきましても、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格、物流費の上昇などにより、国内景気を下押しするリスクが存在することから、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。また人手不足に伴う人件費の高まりなども加わり、経営環境はより一層の厳しさを増しております。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ国内全体で98店舗（直営店67店舗、加盟店29店舗、海外直営店2店舗）を新規出店しました。

既存事業においては、季節にあわせた積極的な新メニュー開発や新規業態を立ち上げ、顧客の嗜好にあわせグループ全体で14店舗の業態変更をしたほか、業務の効率化を推進するとともに、ブランド価値の向上を目指した改装を継続して推進するなど、事業基盤の強化に努めました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高1,247億96百万円（前期比4.0%増）の増収となりましたが、コーヒー豆など円安の影響を受けた原材料価格の高騰による粗利の減少が大きく、また人件費および販売管理費の増加により営業利益は94億66百万円（前期比1.4%減）、経常利益94億91百万円（前期比5.9%減）となりました。当期純利益につきましては特別利益を計上したことから54億56百万円（前期比4.5%増）となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当期業績について

当期については、星乃珈琲店の新規出店拡大や卸売事業の業容拡大、ドトールコーヒーショップの既存店が堅調だったことなど、事業環境そのものは順調に推移し、売上高は前期比104%と増収を確保することができました。しかしながら、コーヒー相場および為替変動による原価の大幅な上昇により、粗利率が減少した結果、営業利益・経常利益が減益となりました。当期純利益においては、有価証券の売却益など特別利益を計上したことで増益を果たしております。

今後もブランド価値の向上を目的とした店舗改装やお客様の嗜好に合わせた業態変更などを推進するとともに、季節に合わせた魅力ある商品作りに注力し、新商品を継続的に発売するなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努め、新規出店を拡大していくことで、企業価値の向上を図ります。

代表取締役会長
大林 豁史

採用状況・人件費について

昨今、サービス産業をはじめとして、採用環境が厳しく事業に支障をきたしている報道が多くなされておりますが、お陰様で当社においてはパート・アルバイトの採用状況に大きな変化はなく、また主婦をはじめとしたパートの方に長く勤めていただけている結果、スキルが蓄積されることでサービスレベルも上がるなど、事業に影響を与えていることはございません。

しかしながら、最低賃金の上昇や社会保険制度の変更など、個別の人件費そのものは上昇傾向にあるのは事実です。一人ひとりの人件費の上昇分については、店舗における休日出勤や残業などが生じないよう店舗におけるシフト管理を工夫することで、総額の人件費を抑えることが可能となっております。

今後も教育制度の充実を図り、一人ひとりのレベルアップを果たすとともに、販売管理費を含め徹底した見直しを図ることで、管理コストの低減に努めてまいります。

業績予想について

グループ全体での新規出店が国内で85店舗、海外で5店舗程度の合計90店舗程度。閉店が35店舗で、店舗数は海外を含め55店舗の純増を計画しております。内訳としては、ドトールコーヒーショップなどカフェで50店舗(FC30、直営20)、星乃珈琲店、洋麺屋 五右衛門、その他など35店舗程度で国内合計85店舗の計画となります。海外については、新たに進出するマレーシアにおいて秋口を目途に1号店を新規出店、年度内3～4店舗の新規出店を検討しており、多店舗化を図るとともに、フィリピンなど新たな国への展開も図る方向で出店をしたいと考えております。

改装については、ブランド価値の向上を目的に、ドトールコーヒーショップおよびエクセルシオール カフェなど、150店舗程度を実施する予定です。

これらの計画により、今期の設備投資額は82億円程度を見込んでおり、新規出店や改装を積極的に行うことで、売上の増大に努めるとともに、各業態のブランド価値向上に力を入れていきたいと考えております。

なお、既存店売上の前提は、年間平均で前年比ドトールが101%、日レスが95%で計画しております。月別では後半に向け若干増加率を上げております。

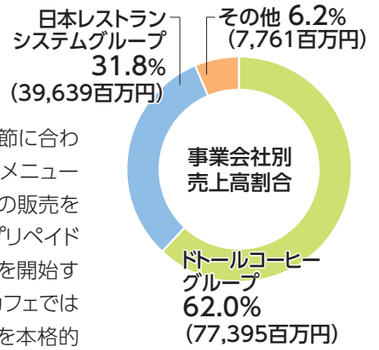
当期においては、コーヒー豆など円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格、物流費の上昇など、原価率UPが利益に対し大きな圧迫要因となりましたが、今期においては原価に対する利益率に変化はなく、その要因はございません。実質賃金が期待ほど上がらない中、消費者の節約志向は強まる一方であり、景気全体に対する不安要素はあるものの、コーヒー卸の拡大や星乃珈琲店の新規出店などにより増収増益を確保し、今期末で過去最高益を目指したいと考えております。

ドトールコーヒーショップや洋麺屋 五右衛門など既存事業において、安定した業績を出し、星乃珈琲店やコーヒー卸売事業で成長・拡大を推進し、さらに海外事業の拡大に邁進していく所存です。また、これまで継続しているグループ間取引の拡大や仕入の共通化を着実に増加させるなど、人件費を含む販売管理費を抑制することで利益を確実に積み上げ、ひとつひとつの施策を確実に実施することで計画を達成してまいります。

2017年2月期業績予想

売　上　高	1,280億00百万円(前年比　2.6%増)
営 業 利 益	104億74百万円(前年比10.7%増)
経 常 利 益	105億11百万円(前年比10.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	56億58百万円(前年比　3.7%増)

代表取締役社長
星野 正則



■ ドトールコーヒーグループ

ドトールコーヒーグループの小売事業及びフランチャイズ事業においては、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、ティータイムにおける新たなセットメニュー(シューシャポー)の導入やシングルオリジンの高単価なスペシャルティコーヒーの販売を実施するなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めました。また、10月からプリペイド方式のドトールバリューカードの本格導入とともに、交通系電子マネーの取扱いを開始するなど、お客様の利便性とお得感を高めております。さらに、エクセルシオール カフェでは「価値ある時間(とき)」をお客様に提供するため、新たなモデルでの既存店改装を本格的に開始いたしました。

卸売事業においては、ドリップコーヒーやコーヒー原料などの販路および取引先の拡大、またコンビニエンス・ストアを中心にチルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力したほか、他企業とのコラボレーションといった新たな商品の開発・販売を始めるなど、これまで以上の業容拡大に努め、売上伸長を図りました。

以上の結果、ドトールコーヒーグループにおける売上高は773億95百万円(前期比2.9%増)と順調に推移しましたが、円安による原材料価格の高騰が大きく影響しセグメント利益は38億92百万円(前期比13.9%減)となりました。

■ 日本レストランシステムグループ

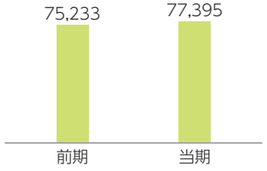
日本レストランシステムグループでは、「洋麺屋 五右衛門」を中心とした既存事業のブラッシュアップに注力するとともに、「星乃珈琲店」等を積極的に展開しました。鹿児島、長崎、福岡の九州地区や愛知、静岡、宮城など地方の主要都市に「星乃珈琲店」と「洋麺屋 五右衛門」との2店舗併設店を新規出店するなど、お客様のご要望にお応えできるよう店舗網の拡大に努めました。

また、新たな展開としては、エアロプレス(空気の力を利用し、短時間で抽出する方法)を特徴としたスペシャルティコーヒーとノルウェーサーモン、デンマークチーズ、リンゴンベリーなど北欧の食材を使用したサンドイッチ、デニッシュ、ケーキを豊富に取り揃えた「オスロコーヒー」や、上質の牛たんだけを厳選した牛たん焼き専門店の「牛たん焼き 仙台辺見」の多店舗化を図るなど、新規出店の拡大と多ブランド展開に注力いたしました。

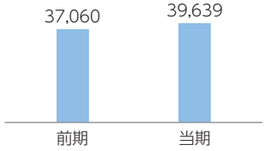
以上の結果、日本レストランシステムグループにおける売上高は396億39百万円(前期比7.0%増)、セグメント利益は50億49百万円(前期比4.0%増)となりました。

(単位:百万円)

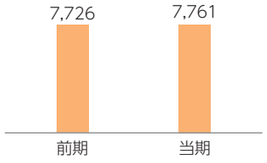
ドトールコーヒーグループの売上高



日本レストランシステムグループの売上高



その他の売上高



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2016年2月29日現在	前期 2015年2月28日現在
資産の部		
流動資産	51,510	46,925
固定資産	69,018	69,579
有形固定資産	43,826	41,222
無形固定資産	1,171	915
投資その他の資産	24,021	27,441
資産合計	120,529	116,504
負債の部		
流動負債	17,924	17,428
固定負債	6,770	6,642
負債合計	24,695	24,071
純資産の部		
株主資本	95,920	91,431
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	71,848	67,359
自己株式	△2,787	△2,786
その他の包括利益累計額	△162	916
その他有価証券評価差額金	77	822
繰延ヘッジ損益	△182	254
為替換算調整勘定	145	36
退職給付に係る調整累計額	△203	△196
少数株主持分	76	84
純資産合計	95,834	92,433
負債及び純資産合計	120,529	116,504

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2015年3月 1日から 2016年2月29日まで	前期 2014年3月 1日から 2015年2月28日まで
売上高	124,796	120,020
売上原価	50,050	48,013
売上総利益	74,745	72,006
販売費及び一般管理費	65,279	62,405
営業利益	9,466	9,600
営業外収益	256	551
営業外費用	230	66
経常利益	9,491	10,085
特別利益	946	401
特別損失	1,106	1,384
税金等調整前当期純利益	9,331	9,103
法人税、住民税及び事業税	4,003	3,994
法人税等調整額	△119	△87
少数株主損益調整前当期純利益	5,446	5,196
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	△23
当期純利益	5,456	5,219

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2015年3月 1日から 2016年2月29日まで	前期 2014年3月 1日から 2015年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,362	10,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,713	△6,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,897	△2,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,738	1,208
現金及び現金同等物の期首残高	33,158	31,950
現金及び現金同等物の期末残高	36,897	33,158

株式会社ドトール・日レスホールディングス

設　　立　2007年10月1日
資 本 金　10億円
従業員数　2,625名(連結)
本　　社　東京都渋谷区猿楽町10番11号
　　03-5459-9178(代表)
事 務 所　東京都渋谷区神南一丁目10番1号
　　03-5459-9178(代表)
U　R　L　http://www.dnh.co.jp

●取締役

代表取締役会長	大林　豁史
代表取締役社長	星野　正則
常務取締役	木高　毅史
常務取締役	稲森　六郎
取締役	鳥羽　豊
取締役	橋本　邦夫
取締役	菅野　眞博
取締役	合田　知代
(社外)取締役	五味　淳吾
(社外)取締役	河野　雅治

●監査役

常勤監査役	宮林　哲夫
常勤監査役	川﨑　嘉範
(社外)監査役	梶川　浩
(社外)監査役	吉島　重鐵

〈2016年5月25日現在〉

株式会社ドトールコーヒー

設　　立　1962年4月
資 本 金　111億41百万円
本　　社　東京都渋谷区神南一丁目10番1号
　　03-5459-9008
U　R　L　http://www.doutor.co.jp

日本レストランシステム株式会社

設　　立　1973年6月
資 本 金　35億5百万円
本　　社　東京都渋谷区猿楽町10番11号
　　03-6743-7010
U　R　L　http://www.n-rs.co.jp

D&Nコンフェクショナリー株式会社

設　　立　2008年8月　　資 本 金　80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

設　　立　2008年12月　　資 本 金　2億円

株式会社サンメリー

設　　立　1969年7月　　資 本 金　50百万円

D&Nインターナショナル株式会社

設　　立　2011年8月　　資 本 金　50百万円

株式会社プレミアムコーヒー&ティー

設　　立　1976年9月　　資 本 金　20百万円

グループ事業の概況

ドトールコーヒー
ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェなど、飲料事業及びカフェ業態を中心に展開する事業会社

D&Nコンフェクショナリー
グループ間及び外部取引先に対し、高品質な商品を開発・販売する洋菓子製造・卸販売を行う事業会社

日本レストランシステム
洋麺屋 五右衛門、モーツアルト、星乃珈琲店など、直営レストラン及び物販・通販業態を中心に展開する事業会社

ドトール・日レスホールディングス
グループ全体の最適化を図るための企画・運営・管理等を行い、グループ全体の経営を統括する。

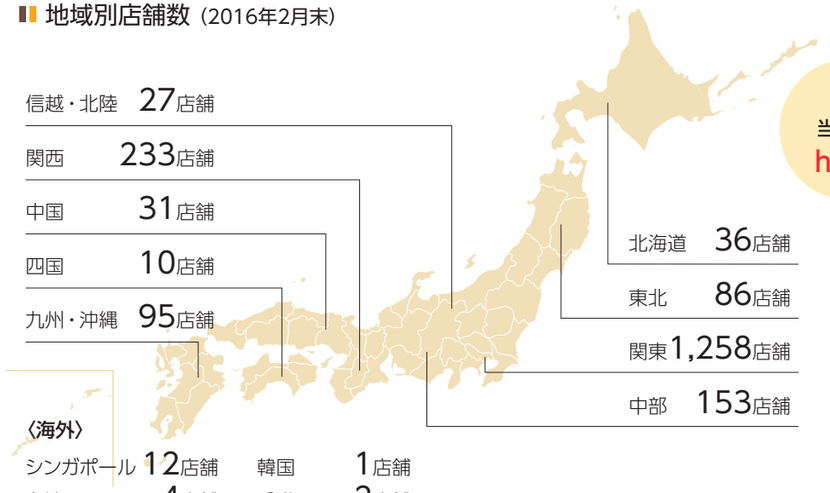
D&Nカフェレストラン
グループのノウハウを結集し、カフェとレストランの複合業態などグループの象徴となる業態を開発・運営する事業会社

サンメリー
石窯パン工房サンメリーなどベーカリー・ショップ及びベーカリー&レストラン業態を中心に展開する事業会社

D&Nインターナショナル
グループの経営資源を最大限活かし、戦略立案から推進まで海外事業におけるリテールビジネスの展開を統括する会社

プレミアムコーヒー&ティー
希少な高級コーヒー豆および紅茶を直輸入し提供する事業会社

地域別店舗数(2016年2月末)

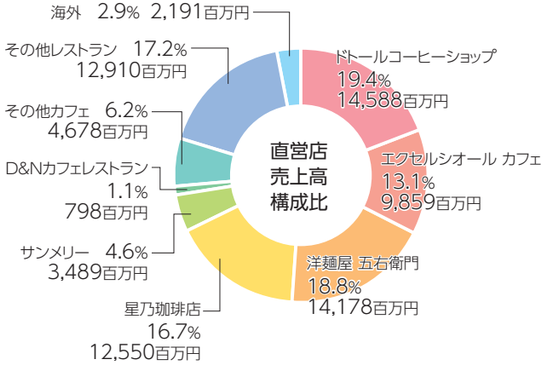


本誌掲載情報の詳細については
当社WEBサイトをご参照ください。
http://www.dnh.co.jp

ドトール日レス　検索

業態別店舗数(2016年2月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,105	919
エクセルシオール カフェ	131	27
カフェ コロラド	66	63
洋麺屋 五右衛門	206	3
星乃珈琲店	162	7
サンメリー	35	—
海外	19	—
その他	224	3
合計	1,948	1,022



※直営店の売上高は総売上高の60.3%を占めます。

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株　　主　　数	54,406名

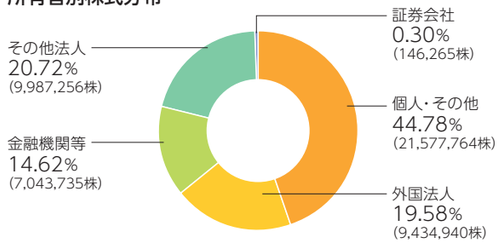
大株主

	持株数（千株）	持株比率（%）
大林 豁史	6,756	14.02
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
株式会社バードフェザーリンク	3,300	6.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,481	3.07
鳥羽 博道	1,430	2.97
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	951	1.97
山内 実	926	1.92
鳥羽 豊	832	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	757	1.57

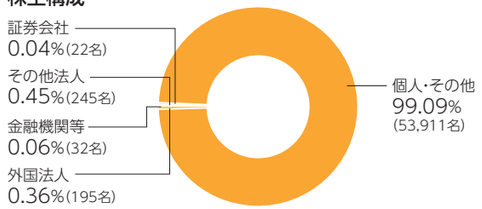
※持株比率は自己株式（2,419千株／4.78%）を控除しております。

株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会　2月末日 期末配当金　2月末日 中間配当金　8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-288-324（フリーダイヤル）
公告掲載方法	電子公告により行います。（ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。）
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

株主優待制度のご案内 変更しました

当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の事業内容についてより一層ご理解いただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

この度、一定の株式数を保有される株主様への還元率の向上と当社サービスをご利用いただくため、以前より多くの株主様からご要望いただいておりました全国のドトールコーヒーショップにてご利用可能な株主優待制度に変更することといたしました。

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年5月末から6月の贈呈を予定しております。

優待制度の内容 変更しました

100株以上300株未満	300株以上500株未満	500株以上
1,000ポイント（1,000円）分のドトールバリューカード	3,000ポイント（3,000円）分のドトールバリューカード	5,000ポイント（5,000円）分のドトールバリューカード

株式に関するお知らせ

▶配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合せ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
▶株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など ▶単元未満株式の買取請求 ▶単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項	口座を開設した証券会社にお問い合せください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL：0120-288-324
▶未払い配当金のお支払	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行、みずほ証券でもお取扱いたします。 （みずほ証券では取次のみとなります。）	

お問い合せ先（株主名簿管理人）　**みずほ信託銀行株式会社 証券代行部　フリーダイヤル 0120-288-324**

取次所　みずほ信託銀行株式会社　みずほ証券株式会社　本店、全国各支店および営業所